

# 帯広消費者協会活性化プラン（概要版）

平成28年12月15日

帯広消費者協会は、長期的に会員減少傾向が続き、収支見通しが大変厳しい状況となっていることから、今後の活動のあり方や収支バランスの改善、事業の選択・廃止、会員拡大策等について、委員会を設置し検討を重ねてまいりました。



これまで、7回にわたる委員会で対策プランをまとめ、11月29日に会長へ報告し承認されました。続いて12月15日開催の理事会において検討の経緯とプラン概要を報告し、活性化基金の取崩しによる補正予算が承認されました。

今後、プランを協会全体で共有し、会員の皆様のご協力を賜り、方針に基づく事業を具体化し、確かな成果につなげていきたいと考えています。

以下、プランの概要をご説明します。

## 主な対策方針（対策方針の詳細は別紙「主な意見と対策方針」のとおり）

- ア、新チラシの作成・配布により、積極的な入会勧奨を実施する。
- イ、ホームページを自主作成し、柔軟で迅速な情報発信に努める。
- ウ、土曜講座のシリーズ開催等により、各世代へのアプローチを図る。
- エ、入会特典、会員メリットを検討し、会員拡大を促進する。
- オ、協賛会員制度の導入により、財政の安定化を図る。
- カ、協会内講師の育成登録制度を導入し、体系的な学習システムを形成する。
- キ、三部体制を見直し、会員拡大を協会事業に位置付け組織的活動を図る。
- ク、班体制を見直し、学習・趣味等の多様なグループを班として登録し、活性化を図る。
- ケ、機関紙「ささやき」を「消協だより」と統合し、経費削減を図る。
- コ、旅費の在り方を見直す等、各事業の経費削減に努める。

## 活性化事業の推進組織

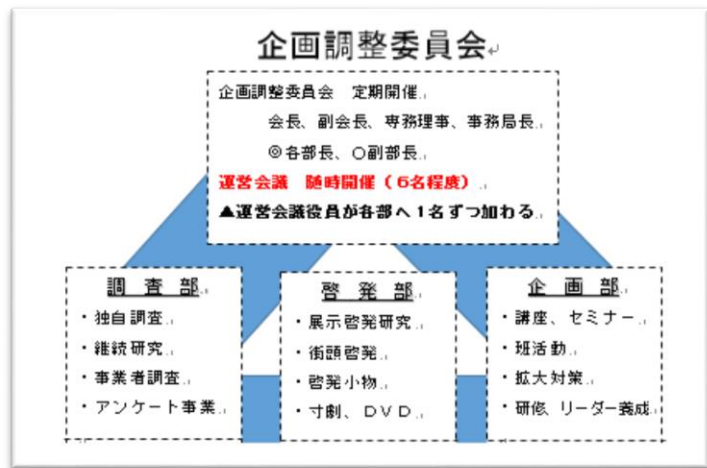
活性化検討委員会を解散し、今後の活性化推進に係る事業の計画、実施、成果評価については企画調整委員会が担います。

また、企画調整委員会内に運営会議を設置し、日常的に消費者を取巻く問題について論議し、必要な場合は三つの部と連携し、協会全体の課題として活動を推進します。



## 三部体制について

消費者相談部を廃止し、新たに「企画部」を設置、会員拡大を位置付け、イベント等の企画、開催を担うこととします。これまでの「啓発部」、「調査部」と併せた三部体制で相互に連携し、プランに基づき事業推進態勢をつくります。



## 班体制、班活動の拡大

これまでの地域型班に加え、学習や趣味等のグループを「班」として加え、自由で多様な活動を包括する協会活動の基礎とします。

## 協賛企業登録

これまでの企業会員とは別に、協賛企業制度を設置し企業や団体の協賛金により財政安定化を図るとともに、事業開催時や機関紙上において協賛企業名を積極的に公表し、地場製品の消費拡大等の企業の先進的取組みを紹介する等の連携を検討します。

## 年度別推進計画 (プランの年度別スケジュールは別紙案のとおり)

計画期間 平成29年度 ~ 平成31年度

## 活性化基金の取崩しと補正予算

○活性化事業費支出 補正予算額 合計 161,000円

内訳

- ア、協会入会チラシの印刷 (印刷製品費 70,000円)
- イ、ホームページ作成レンタルサーバー借上 (賃借料 8,000円)
- ウ、入会特典品 (消耗品費 83,000円)

